

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう}放送原稿（6月22日（金）放送分）

F Mラジオ ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。^{かごしまけんりつあまみと}鹿児島県立奄美図
^{しよかん}書館です。

今朝は，図書館アラカルトと題しまして，図書館の仕組みについてお話しします。

平成24年3月末現在，奄美図書館には，18万8千9百9冊の本があります。それ以後2ヶ月の間に本はまた増えていますので，今日の時点では18万9千冊を超えていることと思います。

さて，18万9千冊の中から，本を探し出すのはたいへんです。例えば，海岸の砂浜に落とした指輪を探すようなものでしょう。

ところが，幸いなことに，私たちは日本十進分類法^{にほんじつしんぶんるいほう}という魔法のルールを持っています。このルールで，本の1冊1冊に，その本があるべき場所を示す住所を割り振っているのです。数字で表されたその住所を，分類番号と呼んでいます。

例えば，栗原^{くりはら}はるみの「ごちそうさまが，ききたくて」という本には，^{ごきゆうろく}596という番号が付いています。簡単に言いますと，5は技術家庭，9は家政学，6はその中の料理ということで，^{ごきゆうろく}596は，技術家庭の中の特に家庭科に関係あるもののうちで，料理の分野の本という意味になります。

料理の中でもお弁当だけについて書かれた本，たとえば，小林ケンタロウの「働きざかり，あそびざかりに 元気弁当」という本には^{ごきゆうろくよん}5964という番号が付いています。料理の本のなかでも特にお弁当の本だよ，という意味を最後の4という数字が表しています。

^{おぎたなおこ}荻田尚子の「食べきりサイズの大人のお菓子」という本には，^{ごきゆうろくろく}5966という番号が付いています.....。

（少し間を取る）

おわかりですか。

^{ごきゆうろくろく}5966の最後の6という数字が，この本は，料理の中でも特にお菓子のことについて書いてある本だよということを示しているのです。

このように、本の全てを10個のグループに分けて、それぞれに0から9までの数字を与えます。技術家庭の仲間には5という数字が与えられました。5の仲間をさらに10個のグループに分けて、例えば家庭科に関するものは9の数字が与えられたのです。59まで来ましたね。同じように59の仲間をさらに10個のグループに分けて、例えば料理の仲間は6となり、596。さらに10個のグループに分けて、お弁当は4で5964、お菓子は6で5966という具合です。ちなみに、飲み物は7で5967、食器は9で5969となっています。

さて、奄美図書館の本は、パソコンや携帯で検索することができます。

平成23年1月からは、横断検索といって、鹿児島県にある大学図書館をはじめ、県立はもちろん、市町村を含む主な図書館の蔵書を自宅にいながら探すことができるようになったのです。便利になりました。

しかし、図書館の本棚を見てみると、蔵書検索ではうまく引っかかってこない本がたくさん眠っているのも事実です。蔵書検索は、著者名や書名の一部を頼りにして本を探すシステムだからです。荻田尚子の「食べきりサイズの大人のお菓子」がよかったんだけどなあ。でも、待てよ。ここには「小林カツ代のケーキ&パイの基本」という本がある。この本には作り方を基本から書いてあるから自分にも作れそうだと気付くことがあります。この2冊のタイトルと著者名には検索語となるワードの重なりが全くありません。ところが、図書館の本棚で見ると、すぐそばに並んでいるのです。思っていた本とは違うけれども別の素敵な本と出会う可能性を図書館は秘めているのです。

ご家庭でのインターネット検索で目的の本を探し出せなかった場合にも、ぜひ、図書館までお出かけください。私たち図書館職員が本を探すお手伝いをさせていただきます。皆様のご来館をお待ちしております。

運命の本が、あなたとの出会いを図書館で待っています。

今日は、本の1冊1冊に与えられた住所、分類番号についてお話ししました。

けんりつあまみとしよかん
県立奄美図書館でした。